

平成30年度(2018年度)

管理事業名	緑化推進事業			総合計画の 体系	第5章 第2節	環境を守り育てるまちづくり 自然と共生するまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 6 緑化推進費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
みどり政策事業 みどり推進事業 みどり普及・啓発事業						
事業の目的と概要 (目的) ・みどりの現況等を適切に把握した上で計画的に実施するため、基礎調査及び計画・方針策定を行うなど、第2次みどりの基本計画(改訂版)に基づき、緑地の保全、緑化の推進、都市公園の整備等のみどりのまちづくりを総合的に進めていきます。 ・民有地の緑化を推進するため、みどりに関する協定や助成制度を活用し、みどりの保護及び育成を行います。 ・市民の参加できるみどりに関するイベント開催等、緑化の普及啓発を通じてみどりのまちづくりに参加するきっかけづくりや、意識の普及・啓発の向上を図ります。 (概要) ・みどりの協定や生垣設置事業助成を進め、民有地の接道部においてみどりを増やします。 ・毎年4月に、緑地内で市民がたけのこを掘るイベントを実施しています(たけのこ掘り)。毎年秋には、花とみどりの情報センター主催による緑化相談をはじめ、各種団体が出展する花と緑を題材としたイベント(花と緑のフェア)へ出展や、市民やNPO団体と協議し、竹林の暗闇の中で、竹筒の幻想的なあかりや楽曲を楽しむイベントを実施しています(千里の竹あかり)。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
みどりの協定締結数	件	34	32	28	みどりの協定を締結した件数(累計)
千里の竹あかりの参加者数	人	3,600	0	0	千里の竹あかりの参加者数(平成29、30年度は2か年にわたり中止)
成果の説明	・みどりの協定締結数は、減少傾向になっています。 ・千里の竹あかりにつきましては、平成29年度は雨天により中止、平成30年度は台風の影響により実施できなかったため参加者はありません。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	15,000	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	305	80	△225
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	39	39
経常収入 小計(a)	15,000	305	119	△186
給与関係費	45,253	40,455	51,844	11,390
物件費	6,312	7,735	1,328	△6,407
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	228	627	1,062	435
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,708	3,258	4,049	791
退職手当引当金繰入額	1,888	△2,467	12,248	14,715
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	57,388	49,609	70,532	20,923
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△42,388	△49,304	△70,412	△21,109
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△42,388	△49,304	△70,412	△21,109
一般財源充当額	56,863	56,191	23,131	△33,060
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	14,475	6,887	△47,281	△54,169

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
寄附金	指定寄付金 2件 80千円
給与関係費	職員人件費 51,844千円
物件費	みどりの協定 花苗代等 1,088千円 花と緑のフェア消耗品購入等 202千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	15,000	305	119	△186
行政サービス活動支出	59,792	56,196	62,165	5,970
行政サービス活動収支差額	△44,792	△55,891	△62,046	△6,155
投資活動収入	-	-	39,000	39,000
投資活動支出	12,071	300	85	△215
投資活動収支差額	△12,071	△300	38,915	39,215
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△56,863	△56,191	△23,131	33,060
一般財源充当額	56,863	56,191	23,131	△33,060
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動支出) 給与関係費等 62,165千円
--------------	---------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	155 円	市民ひとりあたり190円のコストがかかっています。 平成31年3月31日現在の人口により算出しています。
	平成29年度	370,072 人	134 円	
	平成30年度	371,030 人	190 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,258	4,049	791
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,258	4,049	791
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動負債	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	36,961	44,536	7,576
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	36,961	44,536	7,576
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	40,219	48,585	8,366
土地	-	-	-	純資産	725,248	670,966	△54,281
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	765,466	719,551	△45,915	負債及び純資産の部合計	765,466	719,551	△45,915
出資金	390	390	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	765,076	719,161	△45,915				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	765,466	719,551	△45,915				

III 財務構造分析

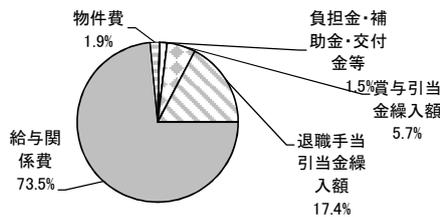
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	6.7人		222日		68,141
給与関係費等	66,021千円		2,120千円		
内、時間外勤務手当	1,152千円				

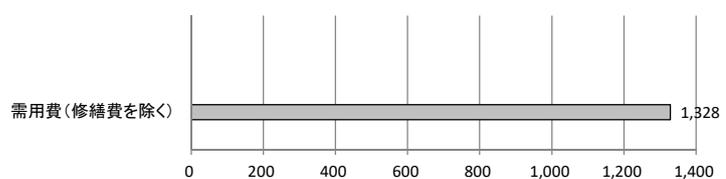
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
出資金	(公財)大阪みどりのトラスト協会 出捐金 390千円
基金	吹田市緑化推進基金 △45,915千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		79.1	99.5	37.2	△ 62.3

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費51,844千円(73.5%)、物件費1,328千円(1.9%)となっています。給与関係費の差額につきましては、主に事業従事人数と時間外勤務手当の増加によるものです。物件費の主な内訳としましては、みどりの協定の花苗代等1,088千円、花と緑のフェア消耗品購入等202千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

みどりの意識向上のためのイベントや、市民協働による市民・事業者への普及・啓発を行うとともに、みどりの保護及び育成に関する協定の締結などによる各種助成制度を活用し事業展開を図ります。
平成30年度(2018年)度の「千里の竹あかり」につきましては、台風の影響により実施できませんでした。毎年、参加者数は増加する傾向にありましたが、今後につきましては、業務プロセス改善における検討や事業実施の必要性などを踏まえ、さらに内容を充実し、より効果的な事業となるよう努めます。
助成制度につきましては、類似の事業相互の関連を整理するとともに、市民ニーズにも対応したより効果的な事業体系となるよう見直しを更に進めていく必要があると考えています。